

## 詳細別紙

### ■ Lumada Innovation Hub Tokyo の 5 つの協創空間と活用メリット

#### 1. 認知・相談から体験:「Meet-Up Square」「DX Gallery」

DX の最前線で活躍するデータサイエンティスト、デザインシンカーなどのデジタル人財や、製造現場のライン制御、働き方改革の推進などさまざまな業務に精通したエキスパート、外部の有識者とリアルとバーチャルでディスカッションをすることができます。このように多様な知見やノウハウを取り入れながら議論することで、取り組むべきテーマや活動内容の枠組みを構築することが可能です。

#### 2. 課題分析、アイデア創出から仮説構築:「Co-Creation Studio」

日立のデザインシンカーが、協創方法論「NEXPERIENCE」として数多くの事例を通して培ってきたワークショップやエスノグラフィー調査などの手法を駆使しながら、業界の動向や現場の状況を見える化することで、ステークホルダーの意見が集約されたビジョン構築やアイデア創出を進めます。

#### 3. 検証から実装、さらに次のイノベーションへ:「Mirai Atelier」「Incubation Base」

デジタルソリューションの検証や実装のプラットフォームとして「Lumada Solution Hub」を活用し、アイデアを素早く具現化します。「Lumada Solution Hub」には、日立や Lumada アライアンスプログラムのパートナーが培ってきた DX のユースケースやデジタルソリューションを順次登録し、アクセスできる環境を整えています。このような実績ある技術やデジタルソリューションを活用し、クラウドを介して業務の現場を接続し検証を行うことで、迅速な DX の実現につなげていきます。また、先進的な AI や OSS なども活用し、開発者コミュニティと連携しながらアジャイルな開発を行い、創出した新たなアイデアや技術などの最新情報は「Lumada Solution Hub」に蓄積することで、エコシステムでの継続的な価値創出の循環を実現します

### ■ 連携施設

Lumada Innovation Hub Tokyo がつなぐ多様な協創施設の詳細は以下の通りです。

国内外のさまざまな拠点のスペシャリストとオンラインでつながり、協創を進めることができます。

#### ・大みか事業所

大みか事業所は、電力・鉄道・上下水や産業分野などの社会インフラ制御システムの生産・運用保守を担っており、多品種少量生産におけるマスカスタマイゼーションを追求しています。これまで、設計・製造ノウハウを含む多種多様なシステムの情報をつなぎ、かつ現場を可視化することで、部分最適から全体最適への改革を推進してきました。2020 年 1 月、WEF(世界経済フォーラム)より世界の先進工場「Lighthouse」へ選定されました。



URL: [https://www.hitachi.co.jp/control\\_sys/omika/](https://www.hitachi.co.jp/control_sys/omika/)

#### ・「協創の森」

中央研究所に開設された「協創の森」では、世界中のお客さまやパートナーとともに社会課題の解決に向けたビジョンを共有して、アイデアソンやハッカソンなどを通じて新たな事業機会を探索します。日立が長年にわたり蓄積してきた IT、OT(Operational Technology) 関連技術と、協創方法論「NEXPERIENCE」や Lumada を活用したアイデア創出、ラピッドプロトタイピングによる仮説検証のサイクルをスピーディーに繰り返すことで、事業シナリオを構築します。



URL: <https://www.hitachi.co.jp/rd/open/kyosonomori/about/index.html>

#### ・Lumada Data Science Lab.

日立が有する幅広い業種・業務の専門的知見やノウハウ、人財、先端技術を集結。より複雑で高度なお客さまの課題に応え、Lumada によるデジタルイノベーションを加速させる AI・アナリティクス分野の中核組織です。お客さまの課題やニーズに合わせてエキスパートが連携し、個々の知見やスキルをベースに柔軟な発想で技術と業務をマッチングします。日立独自の技術だけでなく、OSS やパートナー企業の技術も含めて最適な技術を適用し、スピーディーに検証を進めていきます。

URL: <https://www.hitachi.co.jp/products/it/lumada/about/ai/lds1/index.html>

#### ・Lumada Competency Center

実機によるデモ・検証を通して Lumada ソリューションを共感できる場。お客さまの関心が高いビジネステーマに実機検証を組み合わせた実機デモや、レガシーシステムを次ステージに上げるための実機検証、お客さまのニーズに合わせた検証が可能。

\*2021年4月、Harmonious Center of Competency(2003年設立)から改名



URL: [https://www.hitachi.co.jp/products/it/lc\\_center/index.html](https://www.hitachi.co.jp/products/it/lc_center/index.html)

#### ・Lumada Center Southeast Asia

2018年9月、タイ王国(以下、タイ)政府が推進する"Thailand 4.0"実現への貢献に向けて、アマタシティ・チョンブリ工業団地内に開設。日立は、Lumadaによりデータ分析やAIを活用し、タイにおける工場の生産性向上を支援しています。また、2020年10月、エネルギー・金融・スマートシティなどの幅広い分野へのサービス提供を目的にバンコク市内に Lumada Center の分室を設立しました。日立は持続可能かつ価値に基づく経済の実現をめざすタイ政府のビジョンをサポートしていきます。さらに今後は、これらの成果を、ASEAN 地域へと展開していく計画です。



URL: <https://www.hitachi.co.th/eng/about/hitachi/lumadacenter/index.html>

#### ■ Lumada Innovation Hub Tokyo のコンセプト

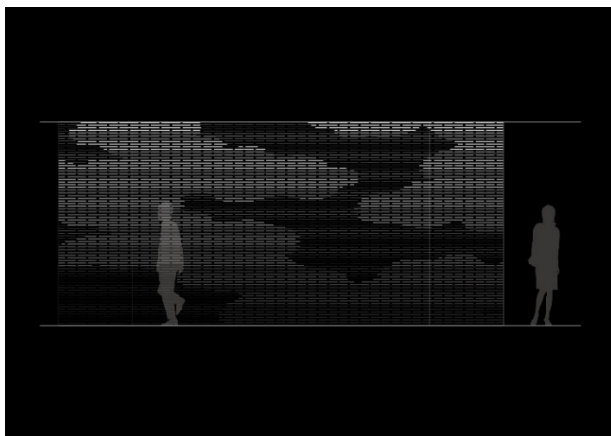
空間デザインコンセプトは「洛中洛外図」



世界中のさまざまな場所で、人々の豊かな暮らしを支え続ける日立の活動と、都市文化が花開き、それを謳歌する人々の様子を生き活きと描いた屏風絵を重ね合わせた設計概念です。

同時に、この Lumada Innovation Hub Tokyo という場を使って、そうした豊かな社会を描き、創りだして行くことへの意思表示でもあります。

## 「すやり霞」を現代的に解釈したしつらい



街のあちこちで繰り広げられる時空を越えた人々の多様な営みを、一枚の画布に繋ぎ合わせるための大和絵の伝統的な手法「すやり霞」。この「すやり霞」を現代的に解釈して、さまざまな施設のしつらいをデザインしました。ここに集うプロフェッショナルやタレントが、お客さまとともに DX を通じて生み出す多彩な価値を、豊かな社会の実現へとひとつに繋ぎ合わせることを象徴しています。